事業番号

250

						事業番-	_	250	
					レビューシー	-	<u>卜務省)</u>		
事業名	国際問題調査研究	究事業費等補助金	担当音	局庁	総合	外交政策局		作成責任	者
事業開始・ 終了(予定)年度	平成2	2年度	担当	課室	政	策企画室	3	を長 中村	· 克
会計区分	一般	会計	施領	6名	п –	・1 国際の平和	と安定に対	する取組	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第1項、 項、「補助金等に係る予算の 第6条第1項、補助金交付要	執行の適正化に関する流				_	_		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	①国際問題調査研究・持外交政策に関する研究の強化するとともに、国にの ②調査研究機関間対話海外シンクタンクの機能と役割 ③国際問題調査研究機財団法人日本国際問題 交流、海外有識者へのジ交付し、基盤支援を行う	・提言等を行う事業(よる外交政策の企画・交流促進事業費等話・交流等を通じたさを強化し、国際世論 関運営支援補助金の原外の原列を発信等、我が国の外発信等、我が国の外発信等、我が国の外	i立案に役立て 三補助金 ネットワークの: 形成に際して(止に伴い、同頃	てる。 構築・汗 の我が 研究所7	舌用に係る経費を 国の影響力を高。 が、外交分野の訓	国が補助するこ める。 調査研究・政策提	とにより、国	国内の外交ご	政策シ ≟の研究
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	平成22年度は、「①国 て1件1,000万円を5件分 の推進事業のため「調2 のある補助金とし、また 万円)」を国問研に交付 なお、本件補助金は、平	、及び「②海外シント を研究機関間対話・3 「③平成26年度までした。	クタンクとの協 交流促進事業 5年間の移行	議・情報 費等補 措置とし	報収集、国内シン 助金(約2億3,128 して国問研の事務	ポジウム開催、 3万3千円)」」をそ 3所借料等を支持	内外有識者 れぞれ公園 受するための	間での政策	ŧ論議 競争性
実施方法	□直接実施 〔	□業務委託等	口補助	<u> </u>	□貸付	口その他			
		20年度	21年度		22年度	23年	度	24年度	要求
	当初予算 一				419	395	5	365	
予算額·	算 補正予算 ー		_		_	_	-		
執行額 (単位:百万円)	状との繰越し等という。				_			365	
(単位:日万円)	計	_	_		419	395	395		
	執行額	_	_		417				
	執行率(%)	_		-		99.6			
	成果:	指標1		単位	20年度	21年度	22年度		標値 年度)
	①国際問題調査研究・提言事業費補助金 (成果目標) シンクタンクの機能強化、外交政策企画立案へ の貢献 (成果実績の計り方) 外務本省および在外公館における政策提言配 布先		成果実績	配布统	先 -	-	420	4	420
			配 達成度	%	-	-			
	成果	指標2		単位	20年度	21年度	22年度		標値 年度)
	②調査研究機関間対話 助金によるネットワーク (成果目標) シンクタンクの機能強化	成果実績	i 件	-	-	50		53	
	ネットワークの構築・維持 (成果実績の計り方) 海外シンクタンクとの国際シンポジウム・国際会 議・共同研究・協議の実施件数		祭会 達成度	%	-	-			
	成果:	指標3		単位	20年度	21年度	22年度		標値 年度)
	②調査研究機関間対話・交流促進事業費等補 助金による対外発信 (成果目標) 国際世論形成への影響力発揮 (成果実績の計り方) 国際世論形成への関与度合い		成果実績		-	-	海クに文国解じ外につに解 外に入るは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タン 22年度 タ等 英が D 通 の 成 が D 通 の が 持 ク D 見	で を を ま を 。 と 。
			達成度	%	_	_			_
						<u> </u>			

			成果指標4			単位	20年度	21年度	22年度	目標値
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		②調査研究機関間対話・交流促進事業費等補助金による国内議論喚起 (成果目標) 国内における国際問題に関する議論の喚起 (成果実績の計り方) 有識者及び国際問題に関心を持つ市民の政策 論議への関与度合い			成果実績		-	-	国内外の政府・ 国内人・研究招い 大・者を担い での変えれる3 ので、2,458人の をで、現るで、 で、現るで、 で、現るで、 で、現るで、 で、	実施し、延べ 2,800人の参 加者を得て、 関心を持つ市
					達成度	%	-	-		
			成果指標5			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		(成果目標) 我が国外交政 止 (成果実績の	周査研究機関運営 対策シンクタンクの 計り方) 団体の活動状況		成果実績		1	1	(問甲末調策カクネ活記の及2果た前所し料の減) 題成で査提とタッ用成成び~等。倒移事で32、年気年つで、第4分リー、異成にを放し転務目がとって、指の果め違いでを所事に、本気中の・廃シレー、指の果め違いでを所事に、本気中の・原シシーで、指の果の成し、事実所務を、で、施ンのク上標一指る成し年務施管所を、政策が度と政能ンを、1部標成し年務施	~4に関し、
					達成度	%	-	-		
			活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
活!	指標及び 助実績 トプット)	外交政策に関する調査研究・提言 国際シンポジウム・国際会議の開催 海外シンクタンクとの共同研究・協議事業 JIIAフォーラム(講演会)の開催			活動実績	件件			5 6 44 33	5 8 45 35
	12317	『国際問題』(ム(講演会)への報 電子版国際問題 、1·2月と7·8月は	専門月刊誌)の発	(当初見込	号			2,458	2,800
				ジャーナル) の発信	_	件			27	30
	と当たり コスト	AJISSコメンタ	マリー(電子版英) (円 /	文ジャーナル) 受信)		について		定量的に示する	130,625 sれるものではな ことは出来ない <i>t</i>	
			23年度当初予算	24年度要求			±	な増減理由		
平		機関間対話・ 事業費等補助	215,417	233,719						
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		調査研究機関 補助金 130,640 75,358								
単位:千円)	国際問題語言事業費	周査研究・提 甫助金	48,475	55,740						
		計	394,532	364,817						

		事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項		
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。			
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。			
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。			
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。			
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。			
使金、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。			
費目		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。			
動実績	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。			
` `	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている			
果実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			

「国際問題調査研究・提言事業費補助金」及び「調査研究機関間対話・交流促進事業費補助金」は、公募に応じた2研究機関に対して、企画書の公正な審査を経て交付した。「国際問題調査研究機関運営支援補助金」は補助金の制度の趣旨に従って(財)日本国際問題研究所に交付した。予算執行状況は年度を通じて担当者が把握し、補助金の目的達成に必要な事業の実施と、年度末の提言書提出・公表まで、適正な執行を確保した。 今後も補助対象事業の内容を精査しながら予算の効率的執行に努めていく。

予算監視・効率化チームの所見

部改

事業見直しによる減

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)

縮減(事業見直しによる減)

補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)

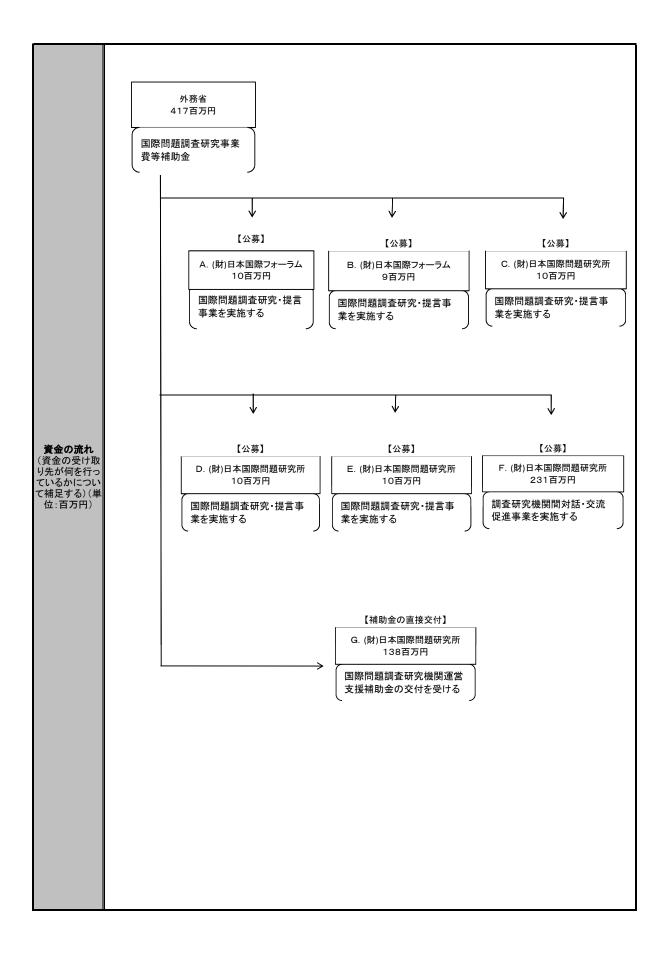
〈事業番号/事業名〉 2-42 (財)日本国際問題研究所補助金

〈結果〉廃止

〈とりまとめコメント〉

この国際問題研究所への補助金の廃止を結論としたい。しかしながら、外交政策および外交に関する調査・研究は重要であり、必要な研究については競争的研究資金によって適切なところに発注するようにしてほしい。この民間の法人が、本当に民間の組織なのか、政府の組織なのか、天下りの状況、組織の状況、補助金の状況を見ると非常に不明瞭であり、この組織への補助金は廃止とさせていただく。

(※本件補助金は、上記日本国際問題研究所補助金の廃止を受けて、必要な研究のために競争的研究資金を確保するために創設されたも の。)



		A.(財)日本国際フォーラム			E.(財)日本国際問題研究所		
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	補助金	研究会開催経費	4	補助金	海外調査費	5	
	補助金	海外調査費	3	補助金	研究会開催経費	4	
	補助金	報告書作成費	2				
	計		9	計		9	
		LB.(財)日本国際フォーラム			F.(財)日本国際問題研究所		
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)	
	補助金	研究会開催経費	(<u></u> (<u></u> (<u></u> (<u></u>)) (<u></u>)	補助金	共同研究・協議事業実施費	132	
	補助金	報告書作成費	2	補助金	事業管理費	30	
	補助金	海外調査費	1	補助金	対外発信事業費	29	
費目・使途 (「資金の流れ」				補助金	人件費	18	
においてブロックごとに最大の				補助金	国際シンポジウム・国際会議開催費	13	
金額が支出されている者につい				補助金	講演会開催費	8	
て記載する。費							
目と使途の双方 で実情が分かる							
ように記載)	計		8	計		230	
	C.(財)日本国際問題研究所			G.(財)日本国際問題研究所			
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	補助金	研究会開催経費	7	補助金	事業管理費	124	
	補助金	海外調査費	2	補助金	人件費	14	
	—————————————————————————————————————		9	計		138	
		D.(財)日本国際問題研究所			H.	I	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	補助金	研究会開催経費	(日万円)				
	補助金	海外調査費	3				
	計		9			0	
	n!		9	pΙ			

支出先上位10者リスト

A. (財)日本国際フォーラム

	支出先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際フォーラム	国際問題調査研究・提言事業	10	4	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. (財)日本国際フォーラム

<u> </u>	支出先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際フォーラム	国際問題調査研究・提言事業	9	4	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. (財)日本国際問題研究所

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際問題研究所	国際問題調査研究・提言事業	10	4	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10				•	

D (財)日本国際問題研究所.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際問題研究所	国際問題調査研究・提言事業	10	4	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E. (財)日本国際問題研究所

	支出先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際問題研究所	国際問題調査研究・提言事業	10	4	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10				•	

F. (財)日本国際問題研究所

	支出先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際問題研究所	調査研究機関間対話・交流促進事業	231	1	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G. (財)日本国際問題研究所

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際問題研究所	国際問題調査研究機関運営支援補助金の交付	138	1	_
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					